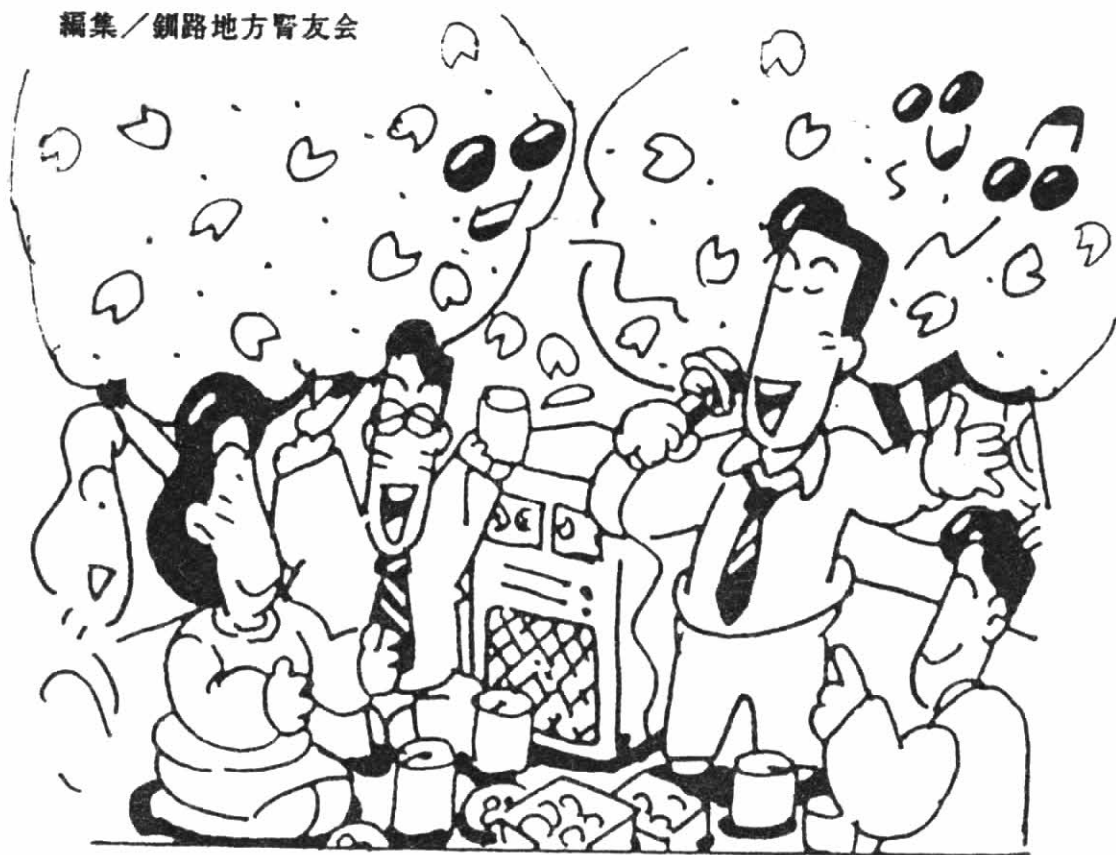


たんちよう

No. 126
4月号

HSK

編集／釧路地方腎友会



【目次】

シャント —— 医療改定にみる - 負担・不安・不可解さについて ——	1
道腎協ブロック会議報告	2
全腎協実行委報告	3
睡眠中に自動腹膜透析～ある新聞の記事より～	4
短歌コーナー —— 植木登歌集より ——	5
おいしいお店	6
クロスワードクイズ・当選者	7
会員の動向	8
編集後記	9

医療費改定にみる一負担・不安・不可解さについて

平成4年4月1日から改定実施された保険単価（医療機関に支払われる治療費のこと）によると、全腎協が取り組んできた、介護を必要とする患者への対応として、二、六%が引き上げられることになった。これは全腎協の思惑通りの成果であり、私達患者にとっては喜ばしいことと言える。

又、腎臓移植関係、CAPD関係については増額されているのに対し、人工透析関係にあつては食事加算（六二点→六三点）があるだけで、四時間未満透析、四時間以上透析ともに据え置きの状態に置かれている。

今回の改定の問題点は、血液検査や生化学検査などの検査料が定額制（検査を何度実施しても、一定の額を月に一度しか算定（請求）できない仕組み）が導入されたことである。

このことは、検査回数が減らされたり、病状の悪化や合併症の発見が遅れたりという弊害を招くことになりかねない。

このことから、厚生省の政策には、何かしら「負担」「不安」「不可解」なものが感じられてならないのである。腎臓移植関連の単価引き上げに付いてみても、ドナー確保のための手立てやコーディネーター養成及び増員の施策が充分でなければ成果は上がらない。

CAPD関連についても、現状では不安が多く、そのために実施に踏み切れない人が多いと思われる。せめて液の交換回数が1→2回程度になるように、研究の分野に力を入れてくれるような施策を講じてほしいのである。

これらの問題については、何よりも患者の声が厚生省に大きく届かなければ、いつまでたっても改善される見通しは生れない。だから地方腎友会を通して患者同志が団結し、強い力を道腎協、全腎協に発展させ、切実な声として厚生省に届くように努力していかなければならないと思うのである。

幸いなことに、「入会のしおり」や腎

友会の必要性について理解してもらうための資料を、非会員に配布した結果、数名の方々より入会の希望があった。

非会員の方々には、腎友会の必要性を充分認識してほしいし、同じ患者同志、一人の力は弱くても、たくさんまとまればまとまるほど大きな力になることを自覚して、団結の輪を広める力になってほしいと思うのである。



平成4年度第一回道腎協

ブロック会議報告

四月二十五日～二十六日の二日間、北海道難病センターにおいてブロック会議が開催されました。(札幌)
釧路から上田弘相談役、橋本事務局長が参加しました。

開会に続き、これまでに亡くなられた会員に対し、黙祷を捧げました。
次に、岩崎薫会長が、全国総会の進行状況などを話されました。

【報告事項】

・各ブロック活動報告

道内二十一ブロックから昨年十月から今年の三月まで活動について説明がなされました。その中では、苫小牧ブロックから非会員が会員に押しやめるように足を引っぱる人たちがいて困っているとのことでした。また、深川では役員の意見が合わず苦勞していると報告していました。また、

・全腎協幹事会報告

佐藤利國(室蘭)全腎協幹事が三月十四日～十五日の二日間、東京中野サンブラザにおいて参加した内容を報告しまし

た。その中では、診療報酬の問題、特に検査料が一律二万四千六百点になったことに対する今後の対応が気になるところでした。また、移植者の会が昨年十月から発足したということです。

最後に、全腎協の公益法人化についての説明がありました。

・国会請願報告

北海道からは、広岡達雄副会長と鈴木春美(深川)、白岩政春(道南)の三氏が国会議事堂に入り、地元議員を中心に請願をしてきたということです。対応のいい議員もあれば、そうでないのでもいて、難しさを感じたとのことでした。

私達が昨年暮れに集めた署名を持ってこうして毎年請願行動をしているからこそ、透析医療が無料になっているのを改めて実感したそうです。

【討議事項】

・道腎協の総会は全国大会の関係で七月に変更されました。

・平成三年度活動報告、決算報告、会計監査報告、平成4年度活動方針案・会計予算案とそれぞれ提案され、拍手で承認されました。

その後、スローガン・総会宣言を承認し、新年度役員が発表されました。

・全腎協の公益法人化問題

透析患者数は全国で十万人を越え、医学的対応と社会対策の需要は一層高まると思われるのでそれに対応するために、全腎協を法人化するという方針を決め、準備に入ったそうです。

法人化したら、いったいどうなるのか？

法人になったら、公益を追求する団体となる。役職名が変わる(例 運営委員が評議委員)。地方の会員は、団体の一員として加入する。などなど。

道腎協でも詳しいことは分からないのでもう少し詳しく調べてから報告することでした。

【低リンミルク紹介】

・会議が終わってから、森永の栄養士さんが低リンミルクで作れるメニューの紹介してくれました。

カリウムとリンは牛乳よりかなり低くタンパクやカルシウム、鉄分が高いので是非飲んでくださいと紹介してくれました。会場では、低リンミルクを使ったアメが配られました。私も一口食べてみましたが、マツタリしておいしいアメでした。皆さんも低リンミルクを試飲してみればどうでしょうか。

(報告 橋本)

青葉第三十二回総会

第二回

実行委員会報告

平成4年四月五日、日曜日午前九時から札幌難病センターにおいて、二回目の実行委員会が開催されましたので、ご報告致します。

○総会の概要

- ・五月二十四日、九時半～十五時半まで
- ・札幌市教育文化会館
- ・全体会議と分科会

○分科会の概要

- ・同日、十二時半～十五時十五分まで
- ・分科会テーマ(予定)
- 一、透析医療と供給体制(大ホール)
- 二、腎移植と脳死問題(小ホール)
- 三、CAPD普及と問題点(第22)
- 四、要介護者問題への対応(第22)
- 五、就労と所得保障(中研修室)
- 六、これからの会活動(講堂)

○準備事項(釧路関係分)

宿舎：札幌定山溪ホテル七百五十人
当日手伝い者の報告

- ・総会受付 上田弘相談役
- ・来賓案内 橋本巖
- ・総会会場内の案内

掛札 聖 東 哲司
金井 英雄 佐藤 信洋

宿泊費は四月二十日まで

釧路の参加者三十八名中

釧路では三十三人宿泊

一万二千元×三十三人分送金予定

○その他

- 展示・販売予定
- ・マクトン・クッキー
- ・かき玉ラーメン
- ・インターコンチネンタルメデカル
- ・サービス(ハワイの透析施設)
- ・セルリーハイ
- ・森永

○救護室は

分科会館地下練習室Aですの
参加者の方は覚えておきましょう。

○札幌駅から定山溪までのバス運行

について
汽車で行く方は、札幌駅で下りてから、
そごうデパートの地下から通っていくと

定山溪行きのバスが出ています。
乗客がたくさんいる時は、増便してく
れるそうですのでご安心ください。
札幌ー定山溪間・七百二十円



潮流

夜間の睡眠中に透析治療ができる自動腹膜透析（Automated Peritoneal Dialysis）システムが発売が許可され、十月からこのシステムを使った透析治療が行えるようになりました。仕事や通学で昼間忙しいという方には、極めて便利

なシステムとして注目されそうです。このシステムは、サイクラーと呼ばれるコンピュータ制御装置が、透析液を自動的



社会復帰に有効システム

睡眠中に自動腹膜透析：APD

に交換する仕組みです。患者さんはCAPD（持続性可動的腹膜透析法）と同様、あらかじめ手術でカテーテルを腹壁に埋め込んでおきます。そして夜寝る前にカテーテルと装置をつなぎ、システムをセツトします。あとは寝ている間に一時間一サイクルのペースで、透析液が自動的に交換されます。米国では透析治療を受ける人が七、八万人おり、そのうち一割近くの方がこのAPDシステムで治療しています。ほとんどの人が一晩に六回程度、透析液の交換をしており、なかなか好評だということです。

北里大学医学部腎センターの酒井科教授によりますと、治療効果はCAPDを若干上回ります。透析治療を受けている患者さんで

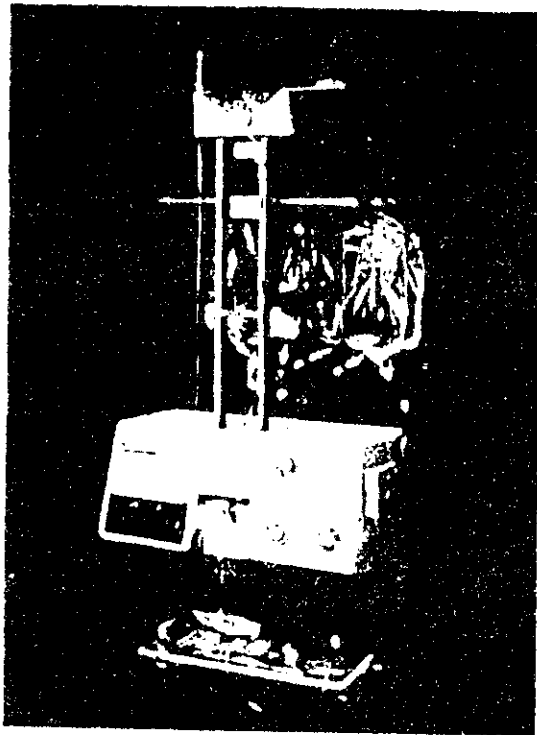
は、血液中の老廃物の一種である尿素窒素やクレアチニンの量が多く、治療ではこれを除くわけですが、APDではその効率かCAPDより一、二割いいそうです。

「医学上の治療の質もいいし、社会復帰つまりクオリティ・オブ・ライフを考えると断然いい。装置は静かで睡眠を妨げられるということもありませんから、日本でもこれから徐々に増えていくのではないだろうか」と同教授は話しています。

ただひとつ問題なのは、装置の価格が一台約二百万円と非常に高いこと。米国では病院やメーカーリースしており、我が国でも同じやり方になりそうですが、その場合、リース代は月々三万円程度が見込まれます。もう少しメーカーさんに頑張ってもらいたいというのが、患者さんの希望になると思います。

（本村治之）

十月から発売が許可されたAPDシステム



短歌

コーナー

今回紹介する短歌は、茨城県土浦市で透析をしながら家業の酒店を営んでいる植木登さんが、透析導入から現在に至るまでのさまざまな気持ちを綴ったものです。皆さんも共鳴できるところがたくさんあると思います。

『歌集・透析のうた植木登著』

日本歌謡芸術協会刊より

『ああこれが 透析ということなのか
血の管を見る 刺し針を見る』

『ベットごと 透析室に運ばれる
我を見送る あわれみの目が』

『歩けたの かけよってくる看護婦の
笑顔が強く 生きると語る』

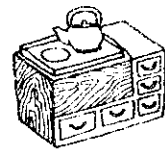
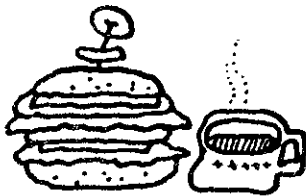
『暑い日は ビールの売上げ気になって
透析している 日暮れのあせり』

『果物と 野菜はカリウム
増えるから少しだけでー
と 遠慮も つらい』

『血のもれた 腕を冷やして
透析を 続ける 夜の
秋の深まり』

『足もんでー。 つつてきたよ。 と
緊張の 糸引く 声が
部屋つきぬける』

『透析は ただでできる と
うそぶいて 腎友会に
背を向ける人』



『腎キャンペーン 終えて 駅ビル
食堂に 笑顔 よせあう
ひとときがある』

『透析を していて 旅行が
できるのか。 友の疑問に
笑顔で返す』

『透析の 身も 忘れてた
能登の旅 思いで 一つ
つぎたしてくる』

お店

今回紹介するお店は、
屋台の「こくまラーメン」

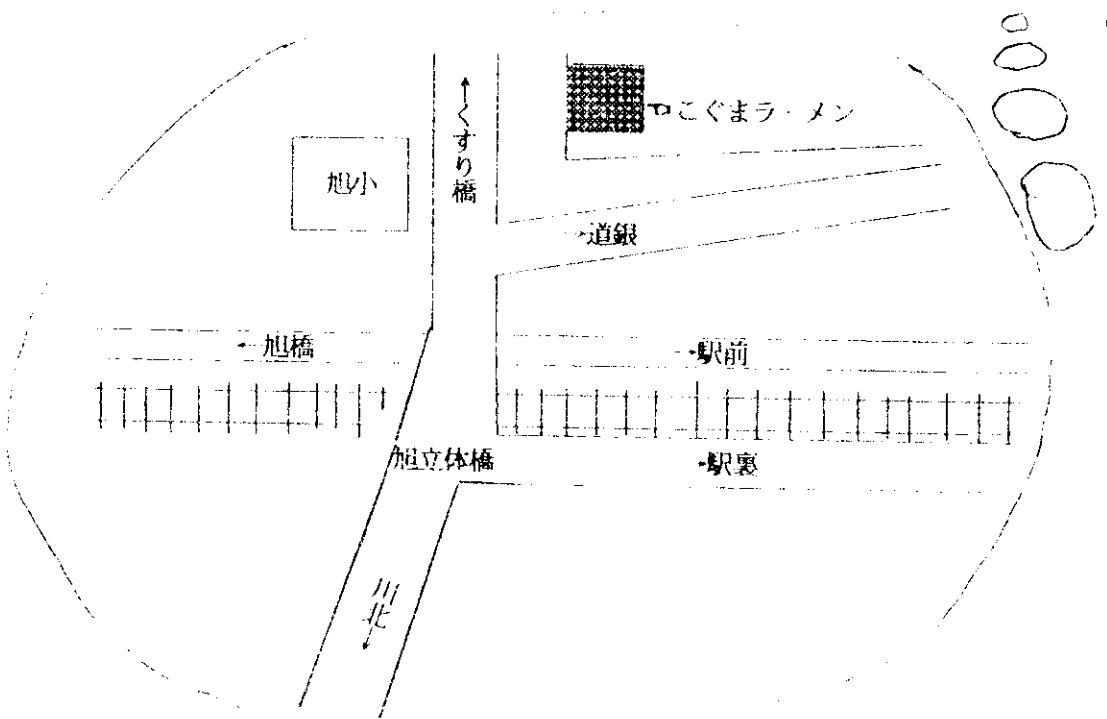
営業開始は、昭和五十二年。定休日は決まっています。それは、雨、雪、嵐などの天候によつて営業が左右されるからです。カップが必要な天気ときは休みになっています。

店内は食卓テーブル一つに椅子が八つほどあります。テントの中は、テレビ、ラジオ、石油ストーブがあり、とってもリッチです。照明は、はだか電球で雰囲気盛り上げています。

ラーメンは、塩、しょうゆ、みその三種類だけで勝負しており、作るのにおじさん一人でキリモリしています。

また、薄味にしてくれるので本当にありがたいです。車も五台ほど駐車でき、仲間内では『橋の下』と言っただけでわかります。

営業時間 P M 八時〜 A M 四時ころ。
住所 釧路市川上町 一 一 十



事務所の電話番号が変わりました。

釧路地方腎友会事務局にご用の方はこの番号をお願いします。

☎ 2 3 — 6 6 8 7

トハト
すばらしい
思ひ出が……。

①田をくぼむのめ、ハツクー
 ーにまぐさやひ鼠物してゐ
 る。

②秘蔵の酒壺、うぬちも——を
 ぬいて生きたるれたる。

③木の葉も新しく——の家。

④美くのじをぬひつて師ひあ
 した。

⑤風を離、明細書に。

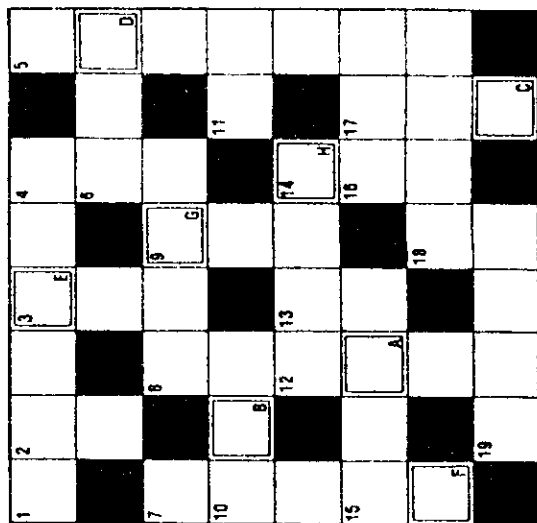
⑥殺人問責し事。

⑦は誰だにも驚いた「形状記憶」
 十 記憶生脳用たまめめに
 した。

⑧は舞に花選した舞士たむな
 舞士。

⑨はいつ、——は若人ひき
 けはれた。

⑩は誰かの一、は国語に。

[illegible]

◎◎下記の応募用紙、又は葉書に答えを
書き、下記の中から抽選で、10名様に
正解者の差し上げます。
◎正解・当選発表は4月まで。
◎締切りは6月20日まで。
◎宛先は、釧路市川北4-17
身体障害者福祉センター内
◎釧路地方厚生委員会の募集要項で
◎各病院の幹事さんに提出しても結構
です。

◎各業の繁栄を期すに於ては、五穀の増産を第一とし、

45 50

ク	○	○	○	○	○	○	○
ロ	○	○	○	○	○	○	○
ス	谷	原	馬	村	本	嶋	島
ワ	二	美	美			々	耕
ド	敏	三	喜	奈	光	ス	キ
バズル	彦	夫	子	子	子	エ	子
当選者	(林)	(林)	(林)	(林)	(市)	(市)	(市)
	(厚岸)						

2月号のクロスワードクイズの答え
【クイズミッドナイト】

42

【会員の動向】

【新患者】

佐藤 圭司

釧路市

和賀 芳彦

釧路町

加藤 幸子

釧路町

五十嵐 悟

釧路市

【新会員】

和賀 芳彦（市立）平成4年4月から

加藤 幸子（市立）平成4年4月から

佐藤 圭司（市立）平成4年4月から

渡辺 尊志（協立）平成4年4月から

田村 清二（秋田）平成4年4月から

【おくやみ】

藤原 ミホ（日赤）平成4年3月2日

下村 シズ子（市立）平成4年3月4日

斎藤 久子（日赤）平成4年4月8日



原稿大募集

釧路地方腎友会が発足以来15年以上継続しているみんなの機関紙「たんちょう」!!!
お気軽に原稿をお寄せください。

誰でも!何でも!気軽にお寄せください!!!

たんちょう編集部

待ってまーす!!!!!!



編集後記

会員の皆さん、まずは、『たんちょう』4月号発行が遅れて申しわけありません。編集委員一同、心からお詫びいたします。

言い訳になってしまいますが、2月から3月4月と、編集委員7名が全く活動できない状態が続き、原稿が集まらなかったのがその理由です。15年以上、続いているこの機関紙をなんとか守っていきたいと考えているのですが原稿がないことにはどうしようもありません。

総会のなかで、年4回の発行にしたいという提案をし、承認されました。ただ、ある会員の方から「一枚物でもいいから情報を流してほしい。妻も楽しみにしているのです。」という意見が出されました。

これから、皆さんのご要望に答えるように編集委員一同一生懸命活動いたしますので、皆さんも投稿をお願いいたします。

みんなの『たんちょう』みんなの手で続けましょう！！